

AVANT

AVANT 決算・経営説明会

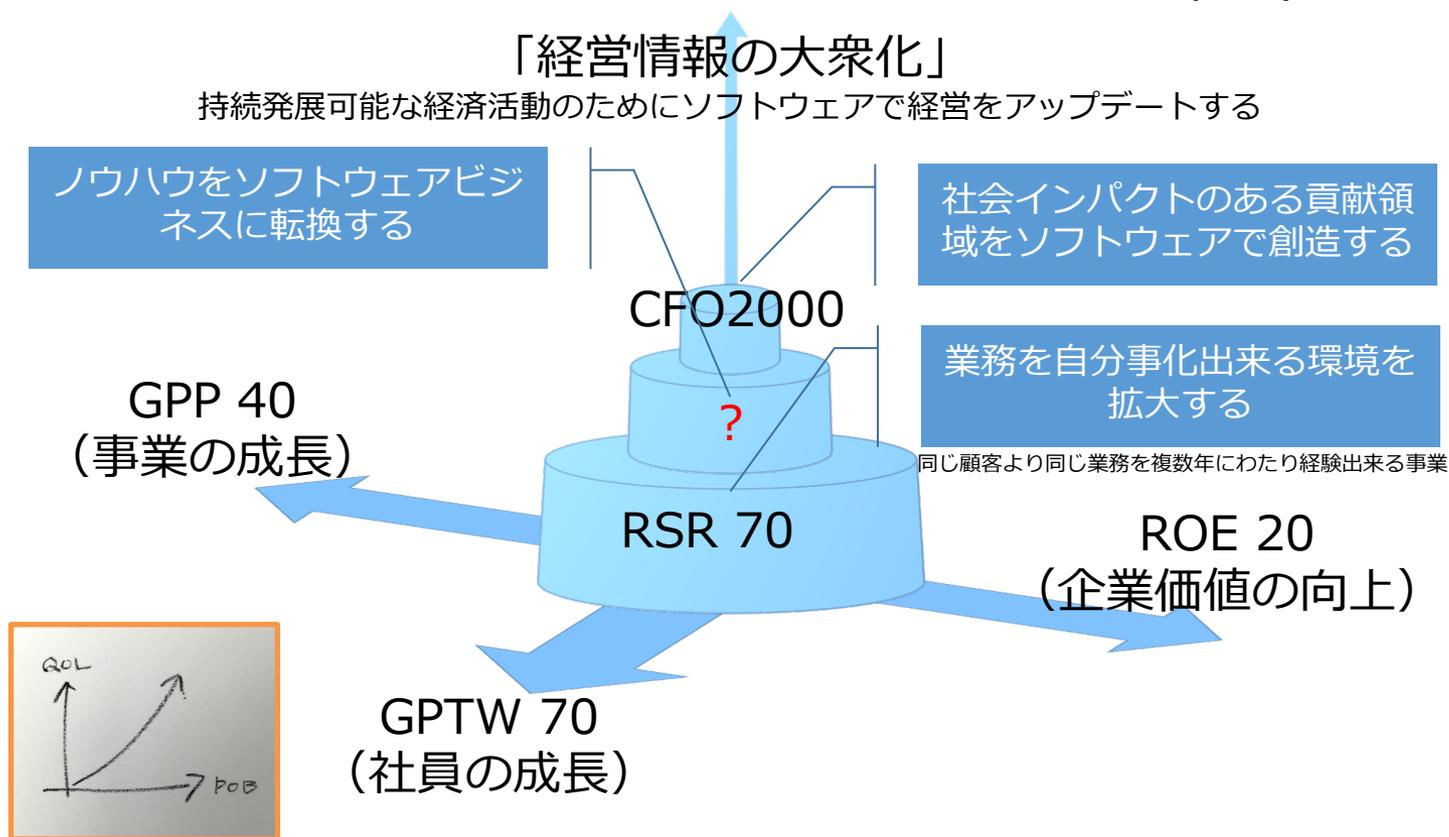
株式会社アバント
(証券コード3836 東証1部)

2021年 2月19日

中期経営計画の進捗アップデート

- 経営理念「100年企業の創造」のもと、BE GLOBALというビジョンに向けた戦略
- 事業の成長、社員の成長、企業価値の向上の三軸をチャレンジの基礎としている
- 課題の自分事化環境の拡大、ソフトウェア転写プロセスの確立の先に、デファクトの創造を目指す

To **BE** a Sustainable **GLOBAL** Software Company

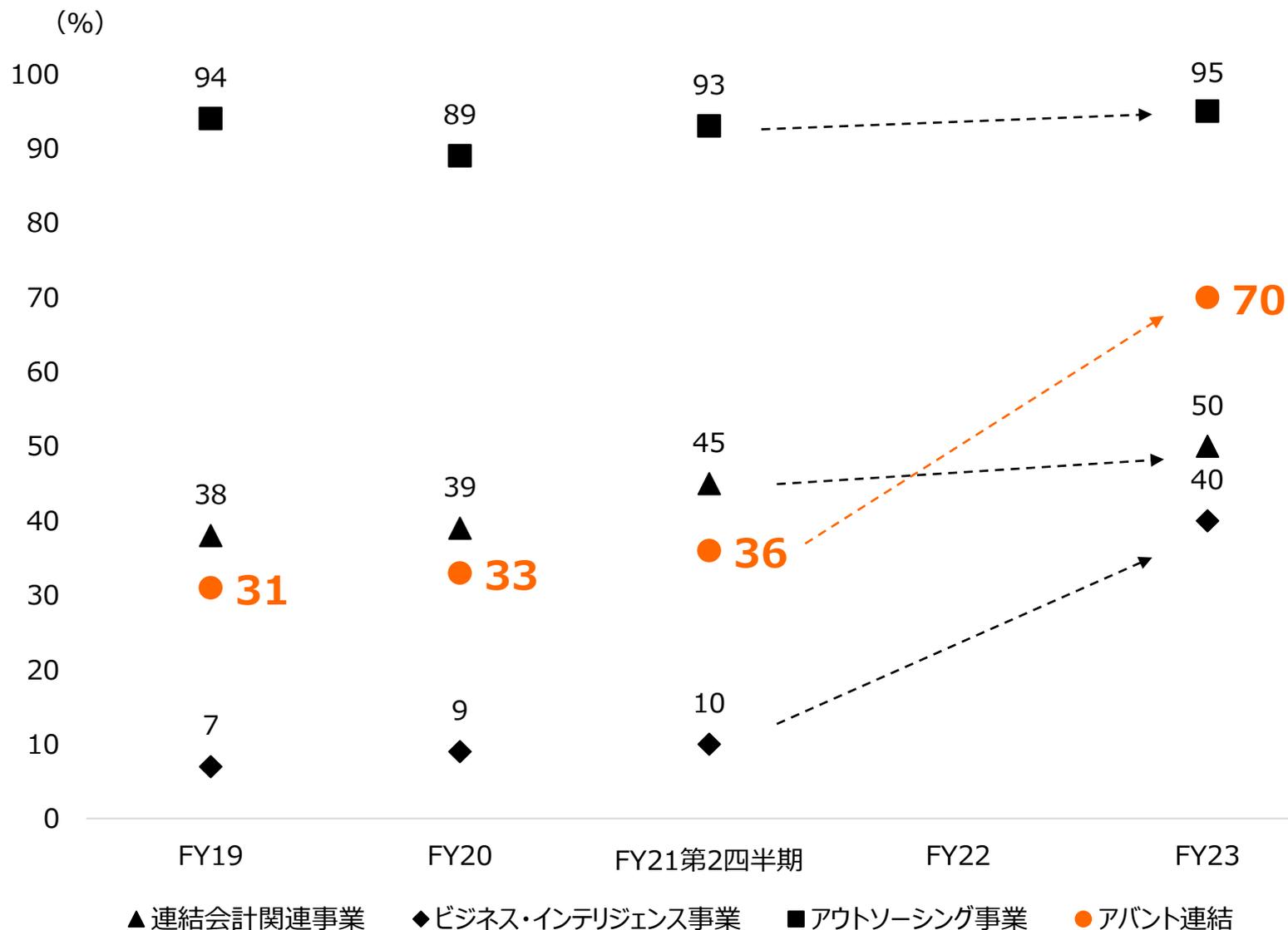


- クラウドシフトを明確にし、トップライン成長を重視
- ストック化比率の向上に向けた独自IPベースの製品・ソリューション投入
- 各社で成長加速に向けM&Aを含めた可能性を検討

	FY20 実績		FY21 予想		FY23 目標
売上高	156.9億円	→	161.1億円	⇒	180~220億円
ストック売上比率	32.7%	→	UP	⇒	70%
営業利益	22.7億円	→	23.3億円	⇒	31~38億円
売上成長率+営業利益率	26.0pts	→	17.2pts	⇒	40pt以上
配当	9円	→	10円	⇒	15円以上

ストック売上比率の推移

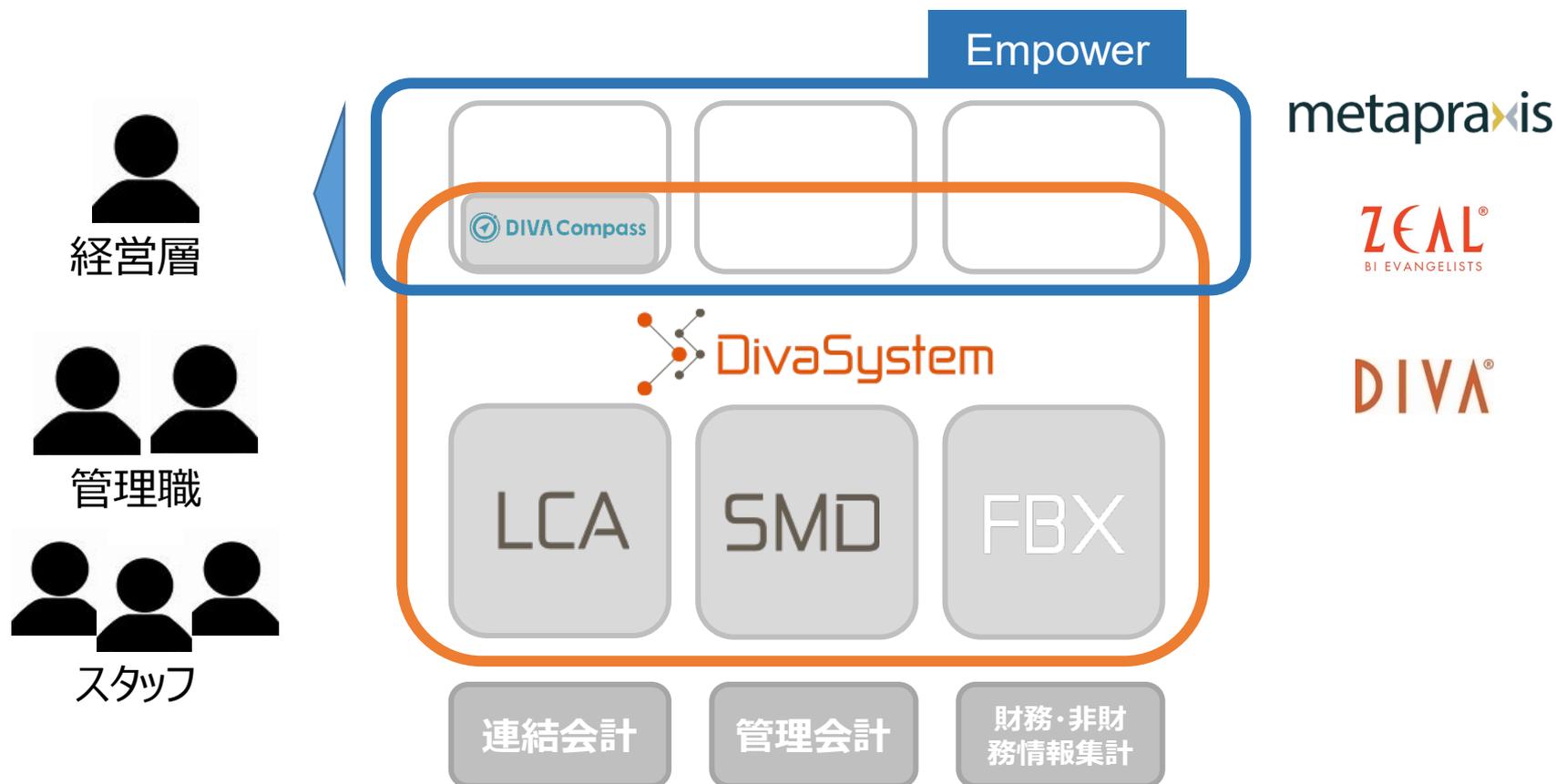
AVANT





- アバントと英国メタプラクシスは2月15日、業務提携を締結
- アバントはメタプラクシスが発行する優先株を取得、取締役2名を派遣し、メタプラクシスはアバントの持分法適用会社へ
- 両社はメタプラクシス社の財務情報可視化BIツール「Empower」を日本語化し、日本市場及び海外の日本企業グループ会社に向けて販売
- 日本語版「Empower」のライセンス料はアバントとメタプラクシスで按分

- メタプラクシス社のEmpowerは財務情報を可視化するBIツールとしてユニリーバ、トムソン・ロイター等欧米の優良企業が多数採用
- アバントグループはエンパワーを日本語化し、国内外の日本企業に向けて販売
- DIVAの各種ソリューションをEmpowerで可視化し、競争力強化
- グループで新たな提供価値を模索





株式会社 インターネットディスクロージャー
Internet Disclosure Co., Ltd.

連結会計事業のKPI

FY20実績		➔	FY21見込		FY21上半期実績	
増収率 : 6%	GPP: 25%		DOWN	UP	増収率 : -6%	GPP: 15%
OPマージン : 19%			UP		OPマージン : 22%	
ストック売上	39%		UP	ストック売上	45%	

クラウド製品開発とソリューション提案型事業の拡大に注力

- ✓ 業績好調な企業やガバナンス意識の強い企業にアプローチ
- ✓ LCA顧客に管理会計SMDやグループガバナンスDx3等のクロスセル
- ✓ ZEALと協働し、他社製品（ダッシュボード、BI等）とのパッケージで提案

- DivaSystem累計導入企業数が1,100社を突破
- 7月リリースの連結会計クラウドサービス「DivaSystem LCA」は順調な滑り出し
- ガバナンス強化に対するニーズが顕在化し、見込・受注共に回復基調



ビジネスインテリジェンス事業のKPI

FY20実績		➔	FY21見込		FY21上半期実績	
増収率 : 16%	GPP: 28%		DOWN	DOWN	増収率 : 0%	GPP: 12%
OPマージン : 12%			DOWN		OPマージン : 12%	
ストック売上	9%		UP	ストック売上	10%	

独自ソリューションでビジネスモデル転換を本格化

- ✓ ZEUSCLOUDに続く独自ソリューション投入、
- ✓ ソフトウェアベンダーとの連携強化、
- ✓ 大手企業のDX関連案件を支援、
- ✓ マーケティング強化、ウェビナー開催

- Denodo、Snowflake、Databricks、Azure等顧客ニーズの強いデータプラットフォーム関連ベンダーとの連携を強化し、企業のデータプラットフォーム構築、データ活用案件に対応
- 独自IP製品も順次拡充予定

FIERTE

アウトソーシング事業のKPI

FY20実績		FY21見込		FY21上半期実績	
増収率 : 27%	GPP: 44%	DOWN	DOWN	増収率 : 19%	GPP: 44%
OPマージン : 18%		DOWN		OPマージン : 25%	
ストック売上	89%		UP	ストック売上	93%

成長モメンタムを維持するための施策

- ✓ 決算アウトソーシング・資金管理ソリューションのパイプライン・ハード化
- ✓ さらなるサービス多様化
- ✓ 効率化投資・人材開発を加速

- 英国Aptitude社と戦略的パートナー契約を締結し、新収益認識基準対応システム「RevStream」を利用したアウトソーシングサービスの提供を開始
- 上半期は連結決算アウトソーシングの顧客が順調に拡大

財務戰略

～ 第2四半期単独では増収増益と想定通り回復基調入り ～

- 第2四半期累計では前年比減収だが、単四半期では増収に転じる。コスト抑制効果により営業利益は累計・単独共に前年比二桁増益、単四半期の営業利益率は20%を超える
- 受注額・受注残もプラス成長に回帰。前年同期の反動やコロナ影響を踏まえ、順調に回復



上期進捗率：47.4%

対前期比

△1.2%



上期進捗率：55.6%

対前期比

+19.0%



上期進捗率：52.8%

対前期比

+22.5%

- 連結会計関連事業は前年比減収も、利益率の改善続く。ビジネス・インテリジェンス事業は増収に転じ、単四半期では3割増益で高い利益率を確保。アウトソーシング事業は高成長・高収益を維持

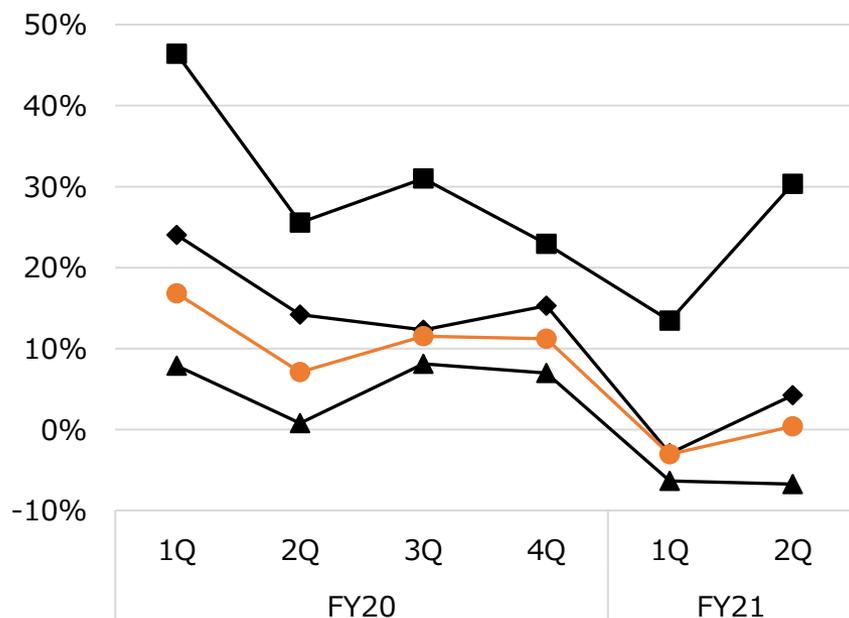
(単位：百万円)

		2020年6月期 第2四半期	2021年6月期 第2四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
連結会計関連	売上高	4,165	3,897	△ 267	△ 6.4%
	営業利益	709	843	+ 134	+ 18.9%
	営業利益率	17.0%	21.7%	-	+ 4.6 point
ビジネス・ インテリジェンス	売上高	2,870	2,878	+ 7	+ 0.3%
	営業利益	352	341	△ 10	△ 2.9%
	営業利益率	12.3%	11.9%	-	△ 0.4 point
アウトソーシング	売上高	993	1,179	+ 186	+ 18.7%
	営業利益	234	295	+ 60	+ 25.9%
	営業利益率	23.6%	25.1%	-	+ 1.4 point

四半期別・セグメント別業績推移推移

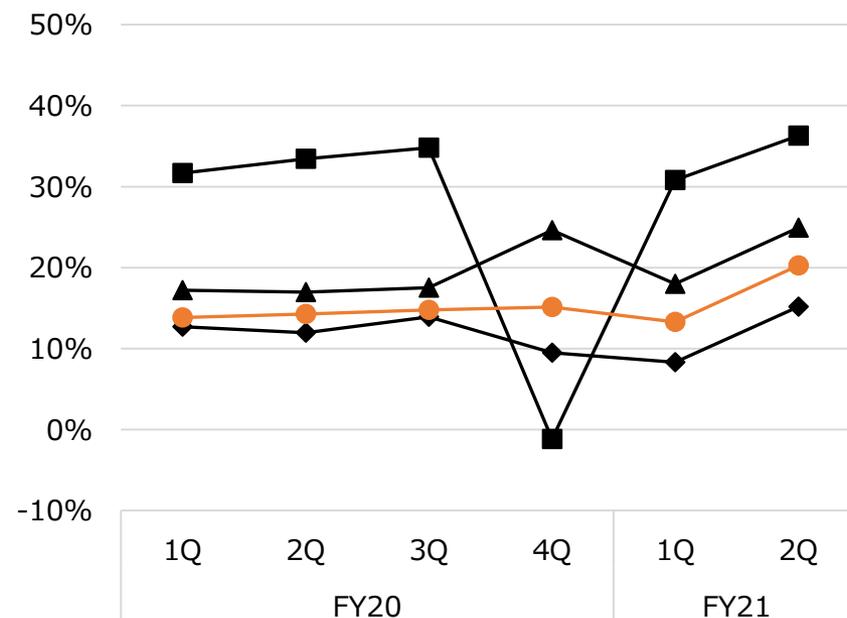
- 連結会計関連事業は大型案件の追加プロジェクトもあって高水準であった前年同期からの反動の影響があるが、ビジネス・インテリジェンスやアウトソーシング事業は増収率が上昇
- 増収効果と内製率の引き上げ等効率化を進めたことにより、全てのセグメントで利益率が改善

単四半期増収率



▲ 連結会計関連 ◆ ビジネス・インテリジェンス
■ アウトソーシング ● 連結

単四半期営業利益率



▲ 連結会計関連 ◆ ビジネス・インテリジェンス
■ アウトソーシング ● 連結

財務状況

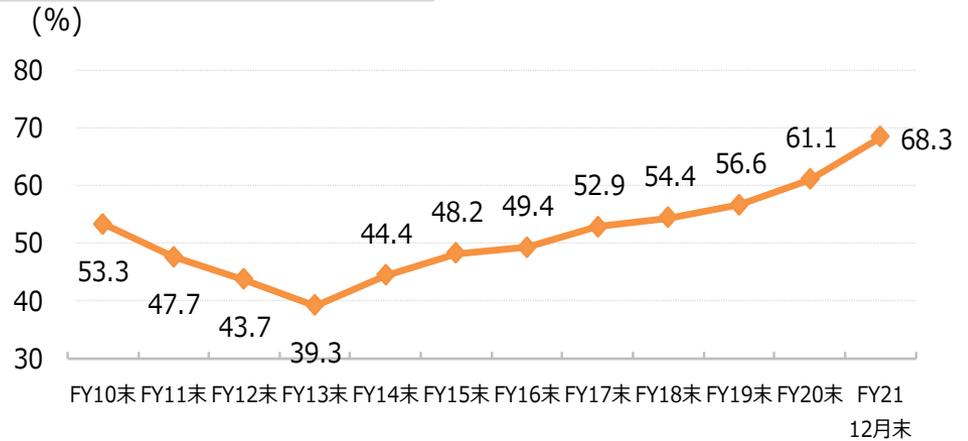
2020年12月末

資産
112億円

負債
35億円

純資産
77億円

自己資本比率の推移



キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2020年 6月期 第2四半期	2021年 6月期 第2四半期
営業CF	△13	250
投資CF	△214	△102
フリーCF	△227	148
財務CF	△287	△351

主な増減の要因

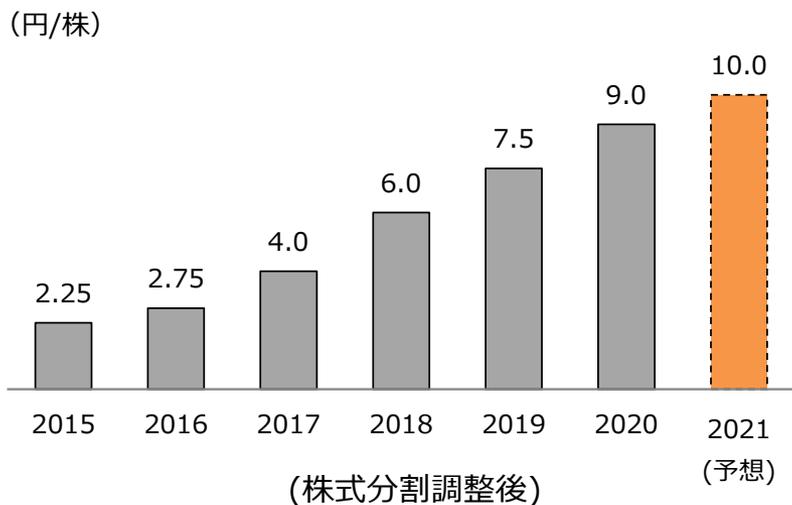
・ 税金等調整前四半期純利益	1,306百万円
・ 減価償却費	126百万円
・ 前受収益の減少	△357百万円
・ 賞与引当金の減少額	△275百万円
・ 売上債権の減少	251百万円
・ たな卸資産の増加	△95百万円
・ 法人税等の支払額	△479百万円

・ 無形固定資産の取得	△90百万円
・ 有形固定資産の取得	△78百万円

・ 配当金の支払額	△338百万円
-----------	---------

～ 2021年6月期配当予想は、1株当たり10円 ～

- 安定的な配当を継続して行う方針に沿い、6期連続の増配予想とする
- 2020年6月期のDOEは5.2%で、東証上場企業平均（12ヶ月）の2.9%を大幅に上回る水準を達成



<AVANT株主還元の考え方>

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率はその値を徐々に引き上げ、東証全上場企業の平均値を常時上回ることを目指す

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1株当り配当金(円)	2.25	2.75	4.0	6.0	7.5	9.0
純資産配当率 当社	3.25%	3.41%	4.18%	5.20%	5.27%	5.17%
(参考)東証上場企業平均	2.43%	2.64%	2.70%	2.86%	2.93%	2.94%

参考情報

100年企業の創造

会社を社会の公器とみなす日本的経営観を尊重し、社会のために存在する組織として発展することが創業以来の企業理念です。

A large grey triangle pointing upwards with the word 'ミッション' (Mission) written in white inside.

ミッション

経営情報の大衆化

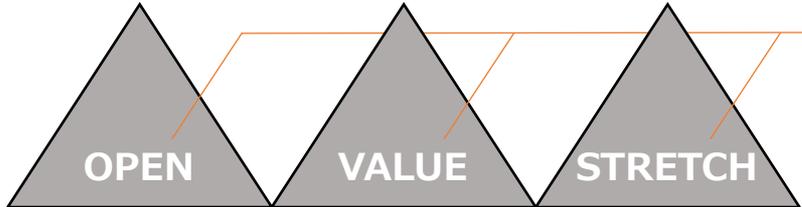
情報技術の発展が個人や社会に大きな変化をもたらした様に、企業経営においても、AVANTグループが様々なビジネスモデルを通じて情報を経営判断に役立つ形に変え、企業と社会の持続発展に貢献することをミッションとします。

A large black triangle pointing upwards with the word 'ビジョン' (Vision) written in white inside.

ビジョン

BE GLOBAL

情報の大衆化により、社会の至る処まで国際化は浸透しており、AVANTグループも国際的な視点で活動を展開することが必要です。世界水準のSaaS企業をベンチマークとして進化を目指します。

Three grey triangles pointing upwards, each containing one of the words 'OPEN', 'VALUE', and 'STRETCH' in white.

OPEN

VALUE

STRETCH

OPEN、VALUE、STRETCH

環境変化を前向きにとらえ、利害関係者との率直かつ誠実な関係を築くこと、常に新たな価値創造に取り組み最高のお客様の満足を追求する姿勢、そして、お客様に対する貢献を健全な挑戦として変化を楽しみ成長を追求する姿勢を大切にします。

持株会社

事業会社

AVANT

DIVA[®]



株式会社 インターネットディスクロージャー
Internet Disclosure Co.,Ltd.

連結会計関連事業

ZEAL[®]
BI EVANGELISTS

ビジネス・インテリジェンス事業

FIERTE

アウトソーシング事業

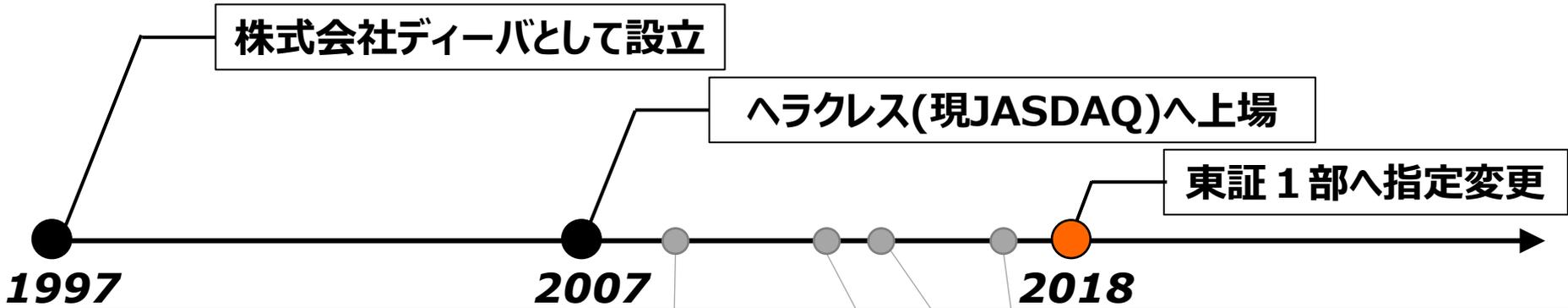
【グループの企業価値の最大化】

- グループガバナンスの構築
- グループシナジーを創出する仕組みづくり
- 金融市場とのコミュニケーション
- 既存事業の成長での計画未達部分に対する施策の実施
 - ✓ 外部成長の取り込み
 - ✓ 新規事業への投資

【各事業の事業価値の最大化】

- 各事業のお客様への貢献価値の最大化に集中
- 各事業の事業計画の達成
- 各事業で設定した目標達成のためのビジネスモデル転換
- 各事業で蓄積したナレッジを元にした新商品の開発

AVANT Groupは次の10年へ



連結決算義務化、J-SOX



連結決算ソフトウェア
メーカーとして成長。
国内シェアNo.1を獲得

グループ経営の拡大



持株会社制へシフトし、
自らもグループ経営を
実践しながら成長

CFOの役割の進化・変革



グループ一丸となり、
新たなる価値創造を
実現するフェーズへ



- 販売実績は1,100社以上※1
- 2020年度連結会計ソフトウェア市場シェアは45.3%※2
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



- トヨタ自動車株式会社
- 日本電信電話株式会社
- 株式会社NTTドコモ
- 中外製薬株式会社
- KDDI株式会社
- ダイキン工業株式会社
- 株式会社デンソー
- 日立グループ
- 花王株式会社
- 日本ペイントホールディングス株式会社
- 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
- アステラス製薬株式会社
- パナソニック株式会社
- 富士フイルムホールディングス株式会社
- 株式会社クボタ など

※1 2020年12月末時

※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2020年版」連結会計ソフト<パッケージ>市場占有率推移



- 91年創業、12年買収。25年以上ビジネス・インテリジェンスに特化
- 1,000社を超えるBI/DWHシステム構築実績
- マイクロソフト、オラクル、IBM、SAPを始め主要ベンダーと緊密に連携

最近の導入事例

郷商事株式会社 ～在庫管理テンプレート構築	野村不動産株式会社 ～予算管理システム	オーディオテクニカ ～営業支援システム構築	株式会社杏林堂薬局 ～クラウド型企業データ統合サービス
株式会社大林組 ～データプラットフォーム構築	三光ソフランホールディングス株式会社 ～マーケティング分析環境の構築	ヤマハ発動機 ～データ分析基盤構築・運用	花王グループカスタマーマーケティング株式会社 ～マーケティング分析環境の構築
クラシエ製薬株式会社 ～マーケティング分析環境の構築	株式会社ビームスホールディングス ～予算管理システム導入支援	株式会社ライフコーポレーション ～予算管理システム導入支援	株式会社ケーユーホールディングス ～予算管理システム導入支援
株式会社日本アクセス ～ビッグデータ基盤・ビジネス分析ソリューション構築	株式会社ココカラファイン ～予算管理システム導入支援	株式会社スシローグローバルホールディングス ～営業支援システム構築	株式会社不動産SHOPナカジツ ～情報分析基盤の構築

主要製品

Amazon Web Service / ASTERIA WARP / Birst / BOARD / BusinessSPECTRE / CCH TAGETIK / CO-ODE / DataSpider Servista / Denodo / Dr. Sum / IBM Cognos Analytics / IBM Planning Analytics / IBM InfoSphere Data Stage / IBM SPSS / IIJ GIO / Incorta Enterprise Analytics / Infor d/EPM / Informatica PowerCenter / intra-mart Accel Platform / Microsoft Azure / Microsoft Power BI / Microsoft SQL Server / MicroStrategy / MotionBoard / Oracle Analytics Cloud / Oracle Cloud Platform / Oracle Hyperion Planning / Oracle Business Intelligence / Oracle Data Integrator / Oracle Essbase / Oracle Exadata / Oracle Exalytics / Oracle EPM Cloud-Planning (PBCS) / QlikView / SAP Analytics Cloud / SAP BusinessObjects / SAP Business Planning and Consolidation / SAS Visual Analytics / SAS Viya / SISENSE / Snowflake / Tableau / ThoughtSpot / Workday Adaptive Planning / Yellowfin / ZEUSCloud

FIERTE

- 2012年DIVAのアウトソーシング事業からスタート、17年8月分社化
- 連結決算処理から開示書類作成等、100社を超える顧客の業務アウトソーシングや、グループ企業のグローバル資金管理をサポート

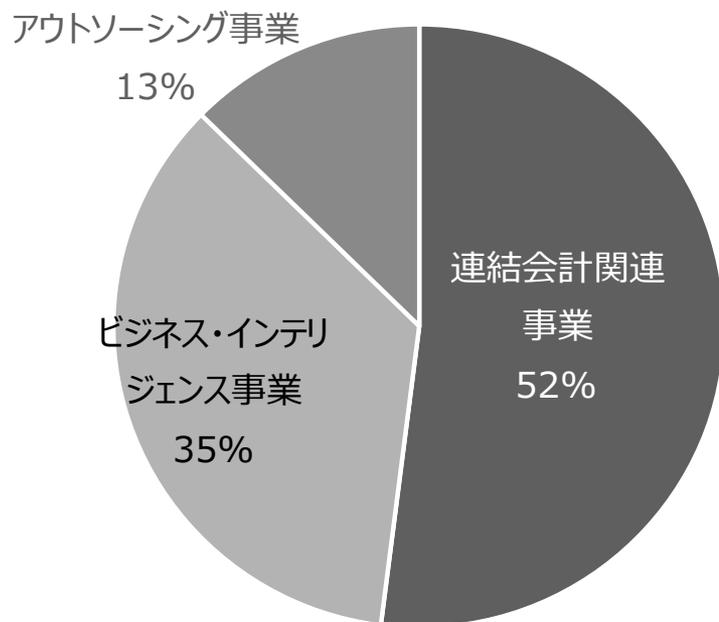
決算業務アウトソーシング

味の素株式会社	APAMAN株式会社	株式会社市進ホールディングス	株式会社IDOM	株式会社IMAGICA GROUP	株式会社エフエム東京
株式会社MCアビエーション・パートナーズ	株式会社クボタ	コスモエネルギーホールディングス株式会社	ジャパンベストレスキューシステム株式会社	株式会社JERA	株式会社システムソフト
双日株式会社	大正製薬ホールディングス	株式会社ツムラ	東海カーボン株式会社	トレンドマイクロ株式会社	日東電工株式会社
株式会社ニフコ	パンチ工業株式会社	PHCホールディングス株式会社	日立金属株式会社	株式会社日立製作所	株式会社日立物流
株式会社フコク	株式会社ベネフィット・ワン	三菱重工業株式会社	三菱地所株式会社	株式会社吉野家ホールディングス	株式会社リサ・パートナーズ

資金管理ソリューション (TMS)

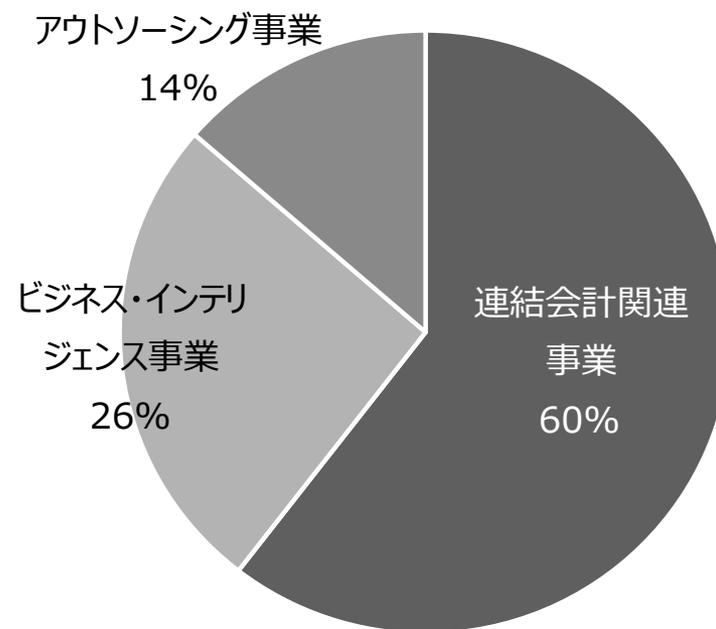
麒麟ホールディングス株式会社	KDDI株式会社	株式会社神戸製鋼所	THK株式会社	東映アニメーション株式会社
株式会社ニフコ	三井化学株式会社	株式会社UACJ		

売上高156.9億円



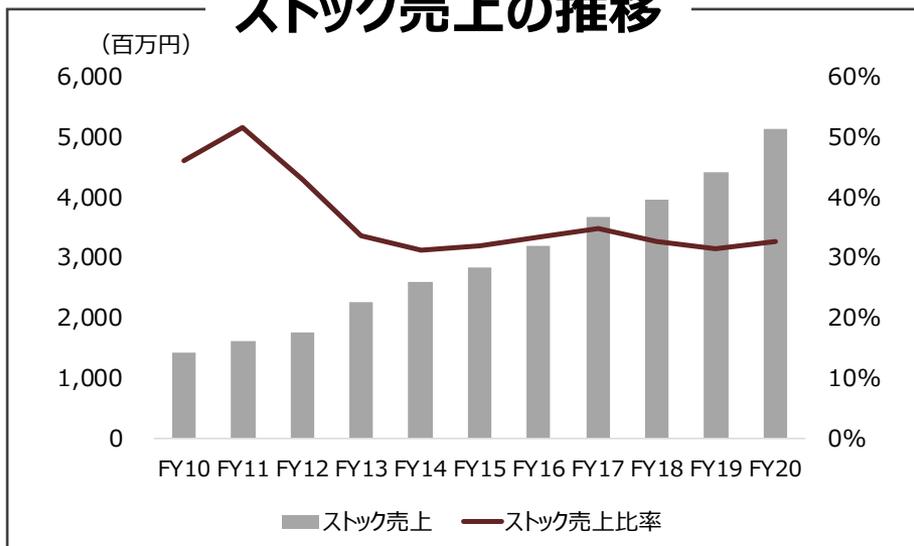
セグメント	前年比
連結会計関連事業	+5.6%
ビジネスインテリジェンス事業	+15.6%
アウトソーシング事業	+26.5%
連結	+11.5%

営業利益22.7億円

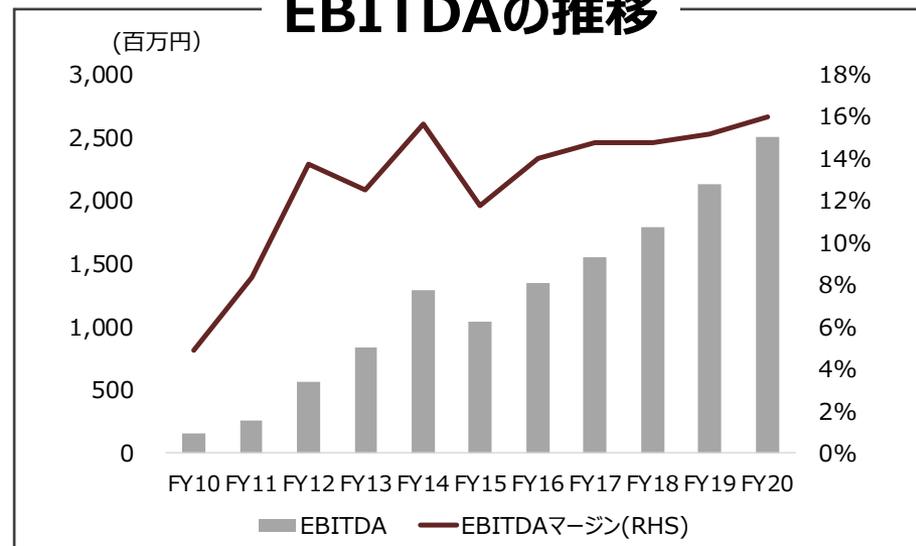


セグメント	営業利益率
連結会計関連事業	19.1%
ビジネス・インテリジェンス事業	12.0%
アウトソーシング事業	17.7%
連結	14.5%

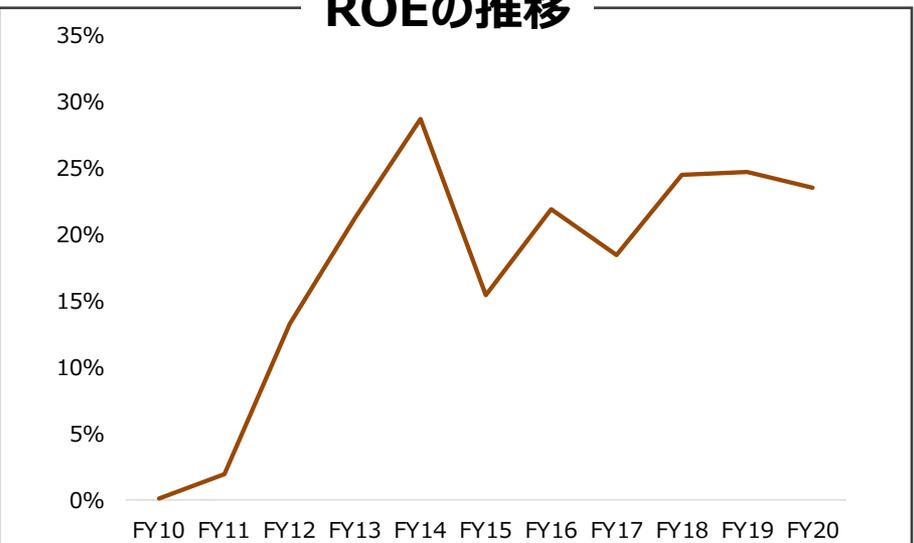
ストック売上の推移



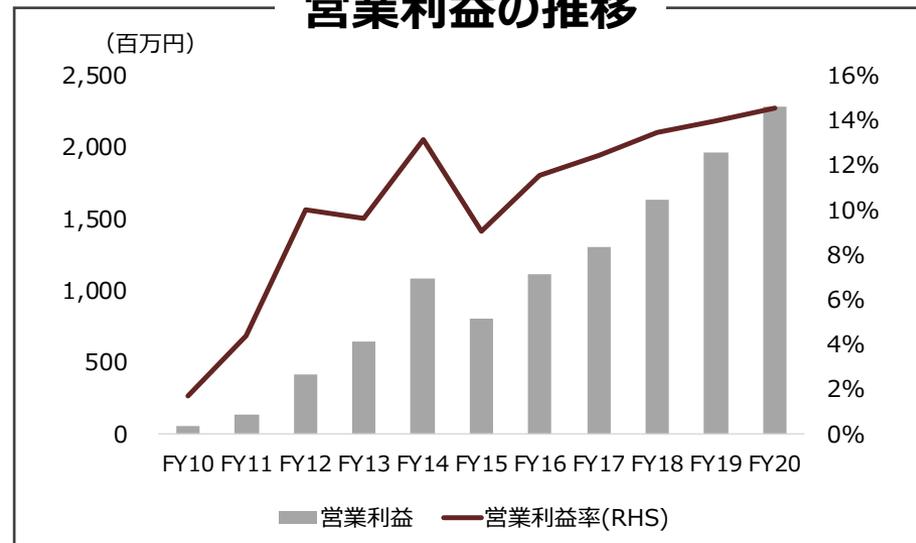
EBITDAの推移



ROEの推移



営業利益の推移



TSR

	1年	3年	5年
アバント	104.2%	297.5%	587.6%
TOPIX	103.1%	103.8%	107.1%
TOPIX情報通信	115.7%	126.2%	152.9%



出所 : Thomson Reuters

AVANT

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われないようお願いいたします。